

No.
138

平成29年9月号

鎌倉市長 松尾 崇の



月刊 温故知新 鎌倉

■ 松尾 崇(まつお たかし/44歳)の履歴 ■

昭和48年鎌倉市で生まれ、西鎌倉幼稚園、西鎌倉小、鎌倉学園、日本大学、鎌倉市で住みながら東京へ会社勤務を経て、鎌倉市議・県議を通算約8年間勤め、平成21年より現職(現在2期目)。
家族は妻と3人の娘(4歳6歳10歳)。趣味は山登り、ジョギング。

4年間で振り返って

東日本大震災や熊本地震、台風やゲリラ豪雨など、これまで経験した事のない大規模な災害が私たちの生活を脅かす中、私は、**市民の皆さんの生命や財産を守ることを**何よりも優先的に取り組むべき課題ととらえ、重点的に取り組みました。

また、人口減少、少子高齢化が進む、これまで誰も経験をしたことのない時代を迎える今、持続可能な都市経営を進めるためには、「子どもたちが健やかにそして健全に育つまち」をつくることが重要であると考え、「**子育て・教育**」分野にも注力をしました。

そして、これらをさらに充実させるための財源確保や効率的な行政運営の実現に向けて、**行政改革を断行**しました。

まだまだ、志半ばではありますが、「持続可能なまちづくり」の基礎を築くことができましたと考えております。そして、これまでの取り組みを礎に、さらなる鎌倉のまちづくりに挑戦をしたいと考えています。

4年間の主な取り組み

【市民の『命』を守る取り組み】

○津波避難路の整備、誘導標識等の整備、津波避難ビルの新規指定、津波避難施設の機能をもった施設として**腰越消防署**を建替え、海近くにある保育園2園を統合して、新たに**由比ガ浜子どもセンター**を建設

○オレンジフラッグの普及啓発 (右上に続く)

(左下からの続き)

- 津波シミュレーション動画の作成
- 「**地区別危険箇所マップ**」を作成し、全戸配布
- 危険ブロック塀の除却費補助を最大 90%に
- AED を市内コンビニ全店舗に設置

【子育て・教育】

- 保育園等の受け入れ数を **295 人増**。(平成 26 年4月 2,076 人⇒平成 29 年4月 2,371 人)
- 病児保育の開始
- 妊産婦健康診査費用補助を増額
- 幼稚園に通う、第2子以降の幼稚園保育料を**実質無償化**
- 中学校給食の開始(今年の 11 月から)
- 小児医療費無償化の**中学3年生までの拡大**
- 小・中学校への冷房設備設置
- 情緒通級指導教室を開設
- 小・中学校への特別支援学級全校設置に向けた整備
- 発達支援サポーター養成講座を開始
- いじめ問題対策連絡協議会を設置

【行財政改革】

- 新たな人事・給与制度の導入、特殊勤務手当などの諸手当の見直し等により人件費の圧縮(**年間約3億5千万円**の財政効果)
- ごみ収集業務・道路補修等業務の委託化の他、民間力の活用に取り組む(平成 23~26 年度までの**4年間で約11億8千万円**の財政効果)
- 債権管理課を創設し、未収債権の管理・徴収の取り組みを強化。(平成 27 年度 **4億1,800 万円**、平成 28 年度 **2億7,900 万円**の財政効果)



松尾 たかし

フェイスブック、ツイッター、メールマガジン、ブログを更新中!

(討議資料)

松尾崇の想い

社会が大きく転換するこの時代において、地方自治は、より一層重要になると考えます。

私は、8年間、鎌倉市長を勤めた経験から、現状の鎌倉市の課題と市役所の問題点を、誰よりも熟知し、**改革の辛苦**を痛感しております。

例えば、市役所組織に存在する前例踏襲主義や事なかれ主義は、市役所の給与体系や人事評価制度にも要因がありましたので、**給与制度等を全面的に見直し**するなど、この抜本的改正に取組み、市役所改革の下地を築いてきました。

また、ここ数年、多くの市役所職員の不祥事を発生させてしまいましたが、その反省を踏まえ、組織の立て直しをして『**市民の皆様**の期待に応えられる市役所』に生まれ変わるべく、厳格なる市役所組織改革に取り組んでおります。

そして、さらなる**コンプライアンスの徹底**を図ると共に、オープンガバメントとして可能な限り情報を公開して、責任を明確にするとともに、行政改革を断行して無駄を省き、電子行政の推進などにより利便性の高い公共サービスを実現することによって、さらに**コンパクトな市役所**を目指します。

こうした地道な取組みの延長にこそ、真の改革実現があると確信しています。

また、改革には人財が必要です。私は、これまで以上に『鎌倉の英知』を集め、また鎌倉に人財を集め、共に汗をかき、『住みたい、住み続けたいまち鎌倉』の実現に向けて、全身全霊で取り組む覚悟です。

ロードプライシング実現に向けて

この度、鎌倉市が、ICT・AI を活用したエリア観光渋滞対策の実験・実装を図る『**観光交通イノベーション地域**』に選定されました。

これは、ロードプライシング(エリアプライシング)の実現に向けて、大きな大きな一歩となります。

ロードプライシングは、『**交通渋滞の解消**』や『**安心して歩けるまち**』を目指す手法として、私が1期目から掲げていた公約で、市民の皆様からも、実現への期待が大きいものでしたが、国や県との協議では、なかなか実現への道筋が見えず、大変苦しい時期が続きまして。

しかしながら、なんとか突破口を開こうと、動いている中で、少しずつ前に進み、今回の実験に至ったものです。

あくまでも予定ですが、市外からの車1台に1,000円お支払いいただくと、**年間10億円**の収入になります。鎌倉の道路整備やバリアフリー、ユニバーサルデザインへの対応などで遅れているところを一気に進めていける可能性があると考えています。

なお、『鎌倉市民からもお金を取るの! ?』と心配する声もありますが、**市民に負担がないように**実施していきますので、よろしく願い致します。

第160回 大船クリーン大作戦

日時: 10月7日(土) 午前7時から8時

(原則、毎月第1土曜日に開催。雨天中止。)

集合場所: JR 大船駅東 階段下

持ち物: 軍手、トング(またはちりとり・ほうき)

終了後、近くのお店にてコーヒーなどを飲みながら、わいわいと懇談・意見交換をしますので、こちらもお気軽にご参加ください。

◎お知らせ◎

◎この温故知新を、ごみとして捨てる際は『ミックスペーパー』へお願いします。

・『月刊・温故知新』(本紙)を10枚以上配布していただける方を募集しています。

⇒「やってあげても良いよ」という方、ぜひご連絡下さい!

・この『月刊・温故知新』を、お店の片隅やレジ横などに置かせて下さい!

◎定期購読をご希望の方は、無料で郵送しますのでご連絡ください。

◎『松尾たかしを応援する会』への連絡先

〒248-0034 鎌倉市津西 1-11-1-2 階(お蕎麦屋「よしむら」さんの2階)

TEL・FAX 0467-32-7186

発行: 松尾たかしを応援する会

